

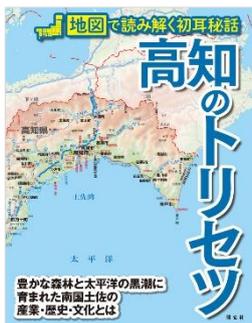
**豊かな自然と黒潮に育まれた土佐の国
森林県でまんが王国！様々な一面を覗き見る**

**南国土佐の産業と歴史、文化を地図で徹底解説
『高知のトリセツ』を1月14日に発売**

～地元支持率の高い大人気「トリセツシリーズ」遂に47都道府県コンプリート～

株式会社昭文社ホールディングス(本社:千代田区麹町、代表取締役社長 黒田茂夫、東証コード:9475)とその子会社である株式会社昭文社(本社:千代田区麹町、代表取締役 清水康史、以下昭文社)は、マップエンターテインメント企画本『高知のトリセツ 地図で読み解く初耳秘話』を、2022年1月14日より発売することをお知らせいたします。

2019年9月末発売の『神奈川のトリセツ』からスタートした「トリセツシリーズ」は、ついに47都道府県コンプリートいたします。トリを飾る『高知のトリセツ』には、シリーズの共通コンセプトをいかし、地形や地質、交通、歴史、文化と産業など、四国一の面積を誇る高知県の多彩な魅力を地図で読み解きながら、さまざまな特性を探っていきます。



<表紙>



<「空から見た高知県」>



<「写真と絵図で見る高知の鉄道」>

)) 本書の概要 ((

シリーズ共通の構成を用いて、「絶景グラビア」+「地図で読み解く高知の大地」「高知を駆ける充実の交通網」「高知で動いた歴史の瞬間」「高知で生まれた産業や文化」の4章立てとなる本書は、40近くの小テーマから、高知県の素顔に迫ります。地元の方々が親しみやすいご当地ネタはもちろん、全国的に有名な高知の<あれこれ>も収録している、読み応え充分の一冊です。

)) 本書の注目記事 ((

|| 地形編⇒森・川・海の恵みを受ける 高知県の風土と特徴/高知県で実証されたプレートテクトニクス理論

◆四国南部に位置し、東西に長い扇状の形をした高知県。高知県と言えば、海のイメージが強いかもしれませんが、実は県土の約84%を林野が占める、全国1位の「森林県」でもあります。複雑な地形や温暖な気候により、県内各地に豊かな自然環境が形成されていて、実におもしろいところです。



<「高知のトリセツ」地形編ページ例>

◆地球表面は複数の動く剛板（プレート）によって構成されている、という「プレートテクトニクス理論」。今でこそ世界中に認められているこの地学論は、実は高知県で行われた調査によって立証されたといわれています。

交通網編⇒3つの日本一を有する とさでん交通の路面電車／自然と調和した生活道 沈下橋が四万十川に多い理由

◆高知市と南国市、吾川郡いの町の2市1町を走る「とさでん交通」の路面電車は、3つの「日本一」を持っています。それは「歴史が古い」、「軌道延長が長い」と「(電停間の)距離が短い」です。明治時代から110年以上の歴史を持ち、開通当時2区間合計約3kmの短い区間からスタートした高知の路面電車、その過去と現在を見てみましょう。

◆沈下橋とは、堤防より低くて欄干が無く、増水のとくに水面に沈んでしまう橋のことです。全国410カ所以上の沈下橋のうち、一級河川および支流だけでも、60カ所以上が四万十川の流域にあります。なぜ高知県に沈下橋が特に多いのか？そのわけは人々の生活に沿ってつくられたものだからです。

歴史編⇒京都から土佐国へ移住した公家大名・土佐一条氏とは／下級武士から世界の実業家へ 岩崎彌太郎が歩んだ道のり

◆京都五摂家の名門として政治的社会的に高い地位にありながら、土佐国幡多荘に土着して、戦国大名に転身した土佐一条氏。公家大名はどういう「移住生活」を送っていたか、その土佐一条氏の盛衰を見れば分かります。

◆大河ドラマ『青天を衝け』にも登場した、三菱グループの基礎を築いた岩崎彌太郎は、土佐の国安芸郡井口村（現在の安芸市井ノ口）出身。地下浪人という下級武士の身分から、「東洋の海上王」と呼ばれるまでになった波乱万丈の人生を、振り返ってみましょう。

産業・文化編⇒林業が盛んな高知で生まれたオーダーメイドの土佐打刃物／著名まんが家が輩出する高知が育んだまんが文化

◆全国屈指の温暖多雨地である高知県は、古くから良質の材木に恵まれ、多くの木材を供出してきました。木材を供出するためには、木を伐採・加工するための道具が必要となり、土佐打刃物が生まれたわけです。そして400年にも及ぶ歴史を誇る土佐打刃物は現在、製品の使用目的や用途に応じて鍛造加工を行う「自由鍛造」により、素朴で使い勝手の良いものを提供し続けています。

◆高知県を訪れると、各所で「まんが王国・土佐」を感じることができます。特に目を引くのが、やなせたかしの作品です。JR高知駅2階には『それいけ！アンパンマン』のコーナーがあり、駅前周辺にはキャラクターの石像も並んでいます。やなせ氏のほか、西原理恵子、横山隆一、はらたいら、黒鉄ヒロシ、安倍夜郎など、著名なまんが家を高知は多数輩出しています。まんがを楽しむ文化が高知県で育まれたのは何故だろうか？その理由を探ってみました。



<「高知のトリセツ」交通網編ページ例>



<「高知のトリセツ」歴史編ページ例>



<「高知のトリセツ」産業・文化編ページ例>

)) 主な特集 ((

|| 絶景グラビア 空から見た高知県

高知県の全 34 市町村マップ | 高知県の鉄道路線図 | 高知県の主要道路地図 | 高知県 3D 鳥瞰図

|| **Part1** : 地図で読み解く高知の大地 || **Part2** : 高知を駆ける充実の交通網

|| **Part3** : 高知県で動いた歴史の瞬間 || **Part4** : 高知で生まれた産業や文化

|| **Column** : データでわかる全 34 市町村 vol.1 人口 | データでわかる全 34 市町村 vol.2 農業 |

データでわかる全 34 市町村 vol.3 漁業

|| 写真で見る牧野富太郎博士ゆかりの植物 | 写真と絵図で見る高知の鉄道 | 写真で見る高知城 | 酒国・土佐の酒宴&酒文化

)) 商品概要 ((

商品名 : 『高知のトリセツ』

体裁・頁数 : B5 変型判、本体 112 頁

発売日 : 2022 年 1 月 14 日

全国の主要書店・一部コンビニエンスストアで販売

定価 : 1,980 円 (本体 1,800 円 + 税 10%)

出版社 : 株式会社 昭文社



Section	Page
高知のトリセツ	1
Part1 地図で読み解く高知の大地	7
Part2 高知を駆ける充実の交通網	17
Part3 高知県で動いた歴史の瞬間	27
Part4 高知で生まれた産業や文化	37
Column データでわかる全 34 市町村 vol.1 人口	47
Column データでわかる全 34 市町村 vol.2 農業	57
Column データでわかる全 34 市町村 vol.3 漁業	67
写真で見る高知城	77
酒国・土佐の酒宴&酒文化	87

<目次>

【参考情報】

|| 「トリセツ」シリーズの特徴

- ・各都道府県を 1 冊丸ごと取り上げ、地図を読み解きながら、地形や地質、歴史、文化、産業など、その特徴や魅力を紹介。
- ・知られざるトリビアをクローズアップし、読み物としてのおもしろさを追求。
- ・ローカル色が強い地域の〈もう一面〉に着目し、地元の方々に、身近な地域をさらに好きになっていただける内容を提供。

|| 「トリセツ」シリーズ既刊本の販売状況

2019 年 9 月に『神奈川のトリセツ』を発売以来、これまでに 46 点刊行[※]いたしました。多数の地元紙で紹介されたほか、各書店のランキングでも上位に進出、Amazon や楽天ブックスでもたびたび品切れになるなど、既刊の地域にて密かなブームを呼んでいます。 ※2021 年 12 月末現在

|| コーポレートサイトにて、トリセツシリーズコラムを公開しております。下記よりご覧ください。

『『トリセツ』シリーズのトリセツ！? 知っているようで知らない都道府県トリビア』

⇒ <https://www.mapple.co.jp/9576/>